

●平成31年度 各会計の当初予算額と増減率

会計名	平成31年度予算額	平成30年度予算額	増減率(%)		
一般会計	117億9,200万円	※ 112億7,100万円	4.6		
特別会計	国民健康保険	35億8,298万5千円	36億8,842万1千円	△2.9	
	後期高齢者医療	3億2,918万7千円	3億2,603万9千円	1.0	
	介護保険	26億9,004万8千円	26億3,445万5千円	2.1	
	公共下水道事業	9億2,715万1千円	8億1,567万4千円	13.7	
病院事業	収益的収支	収入	5億9,966万6千円	6億1,687万2千円	△2.8
		支出	7億3,169万8千円	7億3,195万7千円	△0.0
	資本的収支	収入	890万円	0円	皆増
		支出	5,547万円	5,885万5千円	△5.8
水道事業	収益的収支	収入	4億4,900万円	4億4,367万6千円	1.2
		支出	4億2,446万2千円	4億2,579万2千円	△0.3
	資本的収支	収入	4,780万7千円	3,602万5千円	32.7
		支出	2億9,509万5千円	2億4,863万3千円	18.7

※一般会計の平成30年度予算額は、6月補正後の数値

「前へ。進めよう、新しいまちづくり」「持続可能な財政運営を基本姿勢として各施策に取り組みます」

平成31年度の予算編成に当たっては、「前へ。進めよう、新しいまちづくり」として市長が掲げた重点施策の推進と、「持続可能な財政運営」の確立を基本姿勢として、最大の歳入確保に努め、事業の優先度を見極めて限られた財源を効果的・効率的に配分し、第6次総合振興計画の各分野における取り組みを着実に進めるとともに、地方創生総合戦略にかか

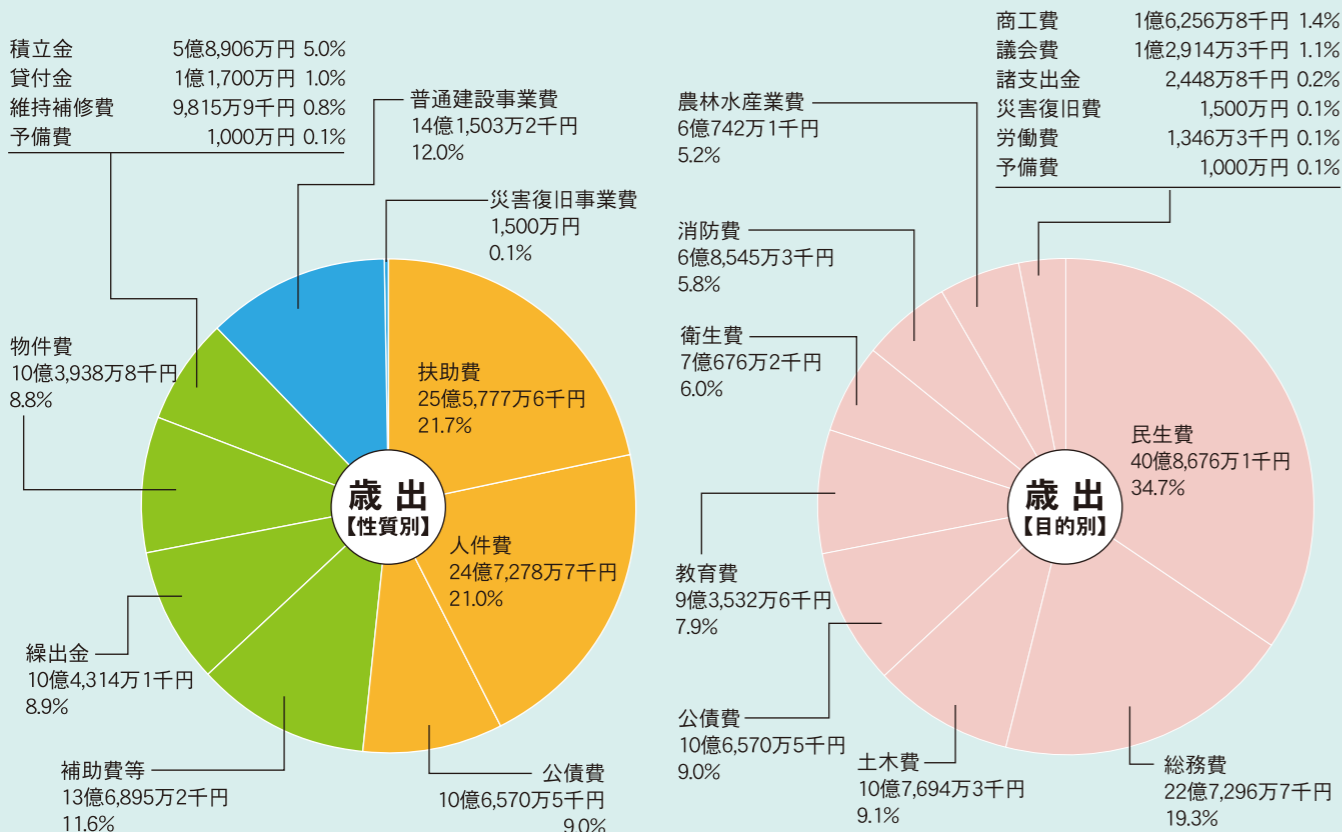
る施策、公共施設等総合管理計画に基づき老朽化対策等に取り組みます。

また、「市民協働」によるまちづくりをさらに推進するため、あらゆる場面で市民や各団体との協働を深化させる取り組みを進めるとともに、予算を伴わずに既存の施設や人材、ネットワーク等を活用し行政課題の解決や市民サービスの向上を図る「ゼロ予算事業」についてもさらなる拡充を図っていきます。

平成31年度 一般会計当初予算は 117億9,200万円

平成31年度一般会計予算額は117億9,200万円となり、実質的な前年度の当初予算額である6月補正後予算額に比べ5億2,100万円の増となりました。

ここでは、各会計の当初予算額と一般会計当初予算額の歳入・歳出の内訳をお知らせします。



■義務的経費 60億9,626万8千円 (51.7%)

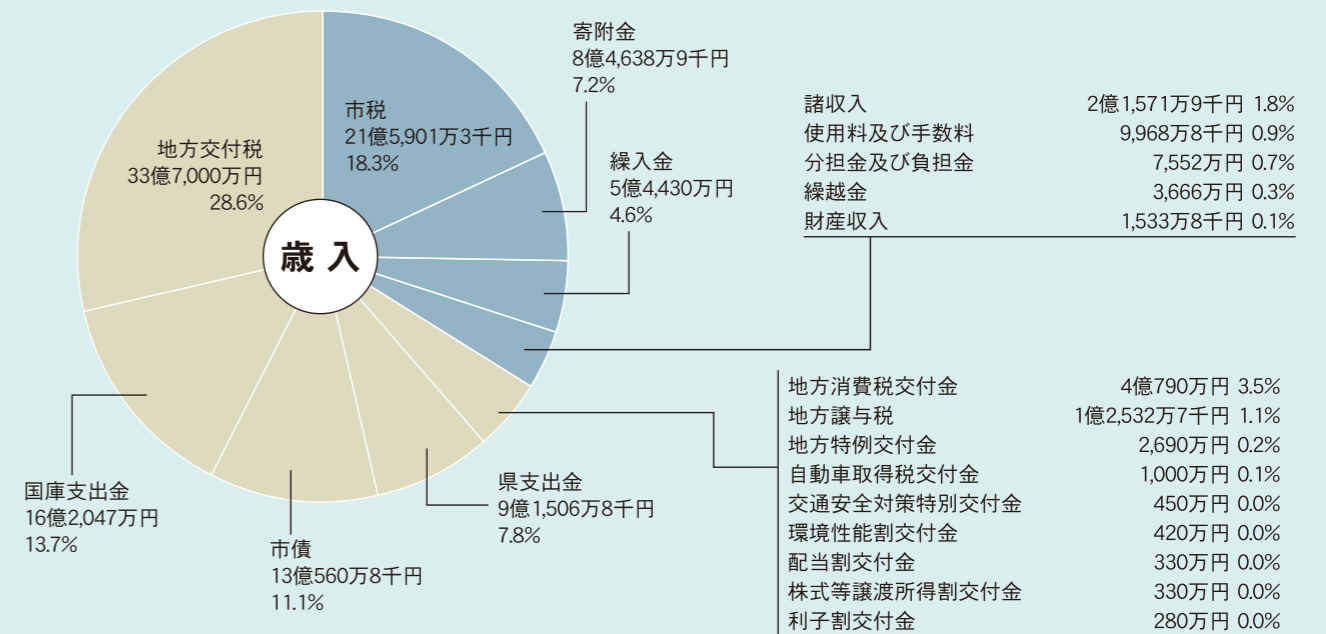
■投資的経費 14億3,003万2千円 (12.1%)

■その他の経費 42億6,570万円 (36.2%)

●前年度予算との比較(性質別)

	31当初	30(6月補正後)
義務的経費	51.7%	53.6%
投資的経費	12.1%	14.2%
その他の経費	36.2%	32.2%

平成31年度 一般会計当初予算 歳入・歳出の内訳



■自主財源 39億9,262万7千円 (33.9%)

市税など市が自分の手で調達できる収入。この財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できるといえます。

■依存財源 77億9,937万3千円 (66.1%)

地方交付税や国・県支出金などのように、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入。

●前年度予算との比較

	31当初	30(6月補正後)
自主財源	33.9%	32.5%
依存財源	66.1%	67.5%